

# 平成 29 年度留萌管内学校図書館活用促進研修会の概要

日時：平成 30 年 1 月 31 日（水）10:00～16:10

会場：羽幌町立羽幌小学校

1 月 31 日（水）、羽幌町立羽幌小学校において、標記研修会を開催しました。管内小・中学校の学校図書館担当教員や羽幌町担当職員等、約 20 名が参加し、学校図書館の効果的な活用について研修を行いましたので、その概要をお知らせします。

## （1）授業公開・研究協議



【授業公開の様子】



【研究協議の様子】

単 元：第5学年国語科『『図書すいせん会』を開こう』

授業者・発表者：羽幌町立羽幌小学校教諭 靱 山 朋 久 氏

授業概要： 「選んだ本のよさが伝わる紹介方法や表現方法を考えること」をねらいに、グループ毎に話し合いました。児童は、選定した本を紹介するための文章を前時までに考え、ポップや帯紙等の特徴に合わせ、文章表現やイラストのレイアウトなどについて考えました。

研究協議概要： 授業公開の後、授業に関わる質疑応答のほか、「学校図書館を活用した授業づくり」について、校種別の研究協議を行いました。

参加者は、授業の感想を交流するとともに、学校図書館を活用した授業づくりに向けた方策について、話し合いました。

### ◆ 学校図書館を活用した授業づくりのポイント ◆

- 各教科・科目等で育みたい資質・能力を明確にし、「探求的な学習」・「言語活動」・「調べ学習」など、指導案に目標や内容を具体的に示すことが大切です。
- 生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成し、「主体的・対話的で深い学び」の実現するための授業改善に生かすことが大切です。

## （2）講義「学校図書館の在り方について」



【講義の様子】

講 師：全国学校図書館協議会

学校図書館アドバイザー 野 村 邦 重 氏

講義概要： 「学校図書館の在り方についての基本的な考え方を理解すること」をねらいに、学校図書館の設置に関わる歴史的な背景や法律上の位置付けなど、学校図書館の在り方について講義を行いました。

### ◆ 学校図書館の在り方について ◆

- 学校図書館は、3つの機能があり、児童生徒はもとより、教職員のためにこれらの機能を高め、学校図書館を計画的に活用することが求められています。

【読書センター】児童生徒の読書活動や児童生徒への読書指導の場としての機能

【学習センター】児童生徒の学習活動を支援したり、授業内容を豊かにしてその理解を深めたりする機能

【情報センター】児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする機能

- 新学習指導要領との関連から、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学校図書館を効果的に活用する必要があります。

### ◆ 児童生徒の読書活動の効果を高めるためには ◆

- 並行読書を授業に取り入れたり、児童生徒が参加するなど読み聞かせを工夫したりすることで、読書への興味・関心を高め、読む力の育成を図ることができます。

### (3) 事例発表「羽幌小学校の取組について」・協議



【事例発表の様子】

事例発表者：羽幌町立羽幌小学校教頭 野 口 修 一 氏

事例発表： 羽幌小学校での取組について、事例発表を行いました。

羽幌小学校では、以前から、町立図書室の支援を受け、蔵書管理や町内読み聞かせ団体による読み聞かせの実施等、児童の読書活動の推進に向けた取組を進めており、今年度、学校図書館に関わる全体計画や年間活用計画を作成し、学校全体で効果的・計画的な学校図書館の活用するための取組を進めています。

協議概要： 「学校図書館の効果的な活用」を協議の柱に、校種別のグループ協議を行いました。  
参加者は、自校の課題について考えるとともに、グループで課題を共有し、解決するための方策について協議しました。

#### 【参加者から出された課題の概要】

- 蔵書関連：選書の基準、蔵書の不足、廃棄の基準 等
- 環 境：配架方法、スペース・設備の不足 等
- 人員・人材：充て職など多忙感、教員の意識不足、図書館を運営する人員の不足 等

共有・協議

#### 【解決に向けた方策】

- 学校図書館に関わる全体計画の作成により、学校全体で学校図書館の活用に向けた共通理解の醸成
- 蔵書の管理や、廃棄・選定に係る公立図書館(室)との連携
- 配架方法や図書選定の基準などの専門的な知識に係る学習機会の提供
- 図書ボランティアなど地域との連携 等

### (4) 演習・協議「学校図書館に関わる全体計画・指導計画の作成について」



【演習・協議の様子】

進 行：留萌教育局教育支援課

義務教育指導班指導主事 森 茂 之

演習概要： 学校図書館の効果的な活用に向けた全体計画を作成するための演習を行いました。

始めに、これまでの学校での取組や学校図書館に関わる全体計画の必要性について確認し、参加者は、それぞれに持ち寄った学校運営計画等の資料を下に、自校における学校図書館に関わる全体計画の作成に向けた演習を行いました。

#### ◆ 学校図書館に関わる全体計画作成のポイント ◆

- 学校図書館を効果的に活用するため、学校経営計画や教育課程に沿って、担当者はもとより、全教職員で全体計画を検討し、作成することが大切です。
- 児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かす視点で検討することが大切です。
- 児童生徒の自発的な探究心を醸成することや、言語活動を充実させる視点で学校図書館を効果的に活用することが大切です。

### アンケート結果から

#### ★参加者からの声★

- ・学校図書館を活用した授業について考えたり、協議したりすることができ、とても勉強になりました。
- ・学校図書館に関する法律や役割について、詳しく学ぶことができ、勉強になりました。
- ・自校の課題を多く見つけたので、同僚と協力しながら、改善を図りたいと思います。
- ・蔵書の管理や子どもの読書推進に向け、公立図書館と連携することの大切さを知る機会となりました。
- ・学校図書館に関わる全体計画を作成する必要性を感じたので、同僚と協力しながら、全体計画を作成したいと思います。